

感染症について

☆下記の感染症が治り、登園のめやすの状態に回復し登園される際は、保護者の方が記入されて、裏面の「登園届」の提出をお願いします。

【必ず、保護者の方が、「どのくらい回復したら登園できるか」を、医師に確認が必要な感染症】

| 感染症名 | 感染しやすい期間 | 登園のめやす |
|------------------------------------|--|---|
| 麻疹（はしか） | 発症1日前から発疹出現後の4日後まで | 解熱後3日を経過するまで |
| インフルエンザ | 症状が有る期間 (発症前24時間～発病後3日程度まで が最も感染力が強い) | 発症した後5日を経過し、 かつ解熱した後2日を経過してから。 (乳幼児は解熱後3日経過してから) |
| 風しん | | 発疹がすべて消失してから |
| 水痘（水ぼうそう） | 発疹出現1～2日前から痂痂形成まで | すべての発疹が痂痂化（かさぶた）してから |
| 流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ) | 発症3日前から耳下腺腫脹後4日 | 耳下腺・顎下腺・舌下腺の腫れが出現してから 5日を経過するまで、かつ、全身状態が良好に なってから |
| 咽頭結膜熱 (プール熱・ アデノウイルス感染症) | 発熱、充血等症状が出現した数日間 | 主な症状が経過して2日経過してから |
| 百日咳 | 抗菌剤を内服しない場合、 咳出現後3週間を経過するまで | 特有の咳が消失するまで、または、5日間の 適正な抗菌剤による治療が終了してから |
| 腸管出血性大腸感染症 (O157、O26、 O111等) | | 症状が治まり、抗菌薬による治療が終了し、 48時間を空けて連続2回の検便によって、 いずれも菌陰性が確認されてから |
| 流行性角結膜炎 | 充血・目やに等の症状が出現した数日 | 感染力が非常に強いので、 結膜炎の症状が消失してから |
| 急性出血性結膜炎 | ウイルスは呼吸器から1～2週間、 便から数週間～数か月排出される | 医師により感染の恐れがないと認められてから |
| 結核 | | 医師により感染の恐れがないと認められてから |
| 髄膜炎菌性髄膜炎 | | 医師により感染の恐れがないと認められてから |
| 感染性胃腸炎 (ノロ、ロタ、 アデノウイルス等) | 症状がある間と、症状消失後1週間 (量は減少していくが数週間は ウイルスを排泄しているため) | 嘔吐・下痢等の症状がおさまり、普通の 食事が摂れるようになってから |

*新型コロナウイルス感染症に罹患した場合は、必ずお知らせください。
「発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで」幼稚園はお休みください。

【医師の診察・診断を受け、全身状態が良くなってから登園が可能な感染症】

| 感染症名 | 感染しやすい期間 | 登園のめやす |
|---------------------|--|--|
| 溶連菌感染症 | 抗菌剤の内服治療を開始する前と 開始後1日間 | 抗菌剤内服後24時間経過してから |
| マイコプラズマ肺炎 | 抗菌剤の内服治療を開始する前と 開始後数日間 | 発熱や激しい咳が治まってから |
| 手足口病 | 手足や口腔内に水疱、 潰瘍が発生した数日間 | 発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、 普段の食事が摂れるようになってから |
| 伝染性紅斑 (リンゴ病) | 発疹出現前の数日間 | 全身状態がよくなってから |
| 伝染性膿痂疹 (とびひ) | 皮疹・痂痂(かさぶた)が湿潤している 間は、接触によって感染します | 痂痂が乾燥しているか、ガーゼで覆える位 になってから |
| ヘルパンギーナ | 急性期の数日間。 (排便の中には1か月程度ウイルスを 排泄しているので、注意が必要) | 発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、 普段の食事が摂れるようになってから |
| RSウイルス感染症 | 発熱、咳などの呼吸器症状のある間 | 呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなってから |
| ヒトメタニューモ ウイルス感染症 | 発熱、咳などの呼吸器症状のある間 | 呼吸器症状が消失し、全身状態が良くなってから |
| 帯状疱疹 | 水疱を形成している間 | すべての発疹が痂痂化(かさぶた)してから |
| 突発性発疹 | 感染経路は不明。成人の唾液中のウイル スから感染すると言われています | 解熱し、機嫌や全身状態が良くなってから |